

令和4年度 的矢湾アマモモニタリング結果

調査日時：令和4年4月19日（火）

調査地点：坂崎

方 法：マット方式（令和元年度設置）

アマモ生育状況：港内にて栄養株 1株（体長 約50cm）を確認

港内では、設置されたマットの南端から13m地点にて1株のアマモが生育していたが、その地点以降では確認できなかった。このアマモの体長は約50cmであり、中に種をつくる「花穂^{かすい}」は認められなかった。確認されたアマモはこれまでの調査で多数分布していた位置である。

泥の堆積は、マット上で平均5～8cm、多いところでは10cmであった。

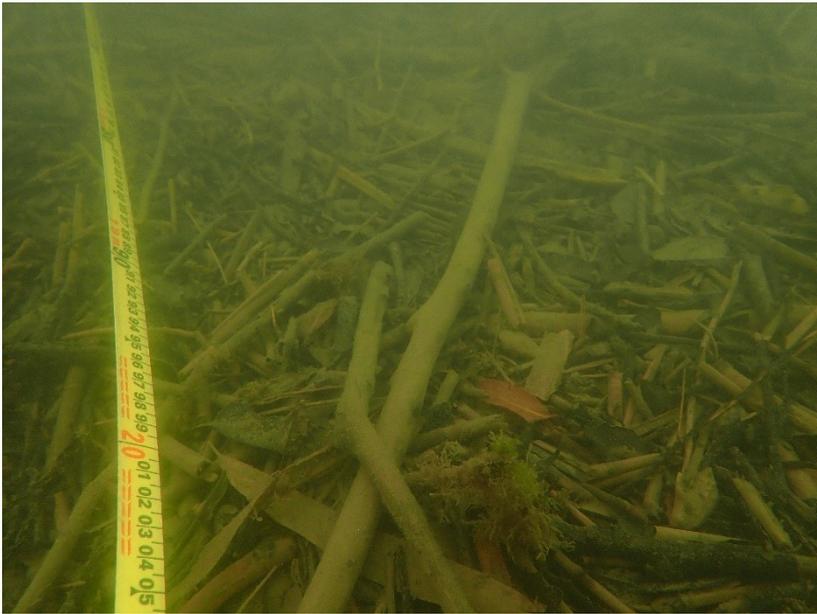
港外西側のマット内外のアマモの生育は、これまでと同様に認められなかった。

多量のヨシ・竹類・流木などの堆積物や泥により、設置したマットの全域が覆われていた。

港内地点 （アマモ 1株）



港外地点 (マット上の堆積物)



調査地点：飯浜オガエ地区

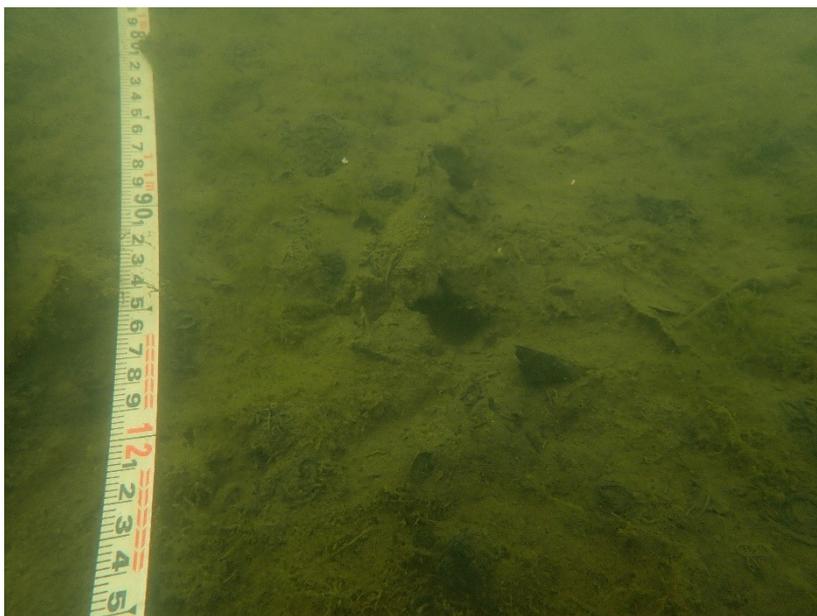
方 法：マット方式 (平成 30 年度設置)

アマモ生育状況：確認できず

令和 3 年 5 月の調査では若干の分布が認められていたが、7 月以降は確認できず、今回の調査でも確認できなかった。

マット上の堆積物は 5～10 c m 程度であり、全体的に枯れ葉と泥で全域が覆われていた。

(マット上の堆積物)



調査地点：飯浜オガエ地区

方 法：マット方式（平成 29 年度設置）

アマモ生育状況：栄養株 3 株（体長 約 30 cm、50 cm、50 cm）

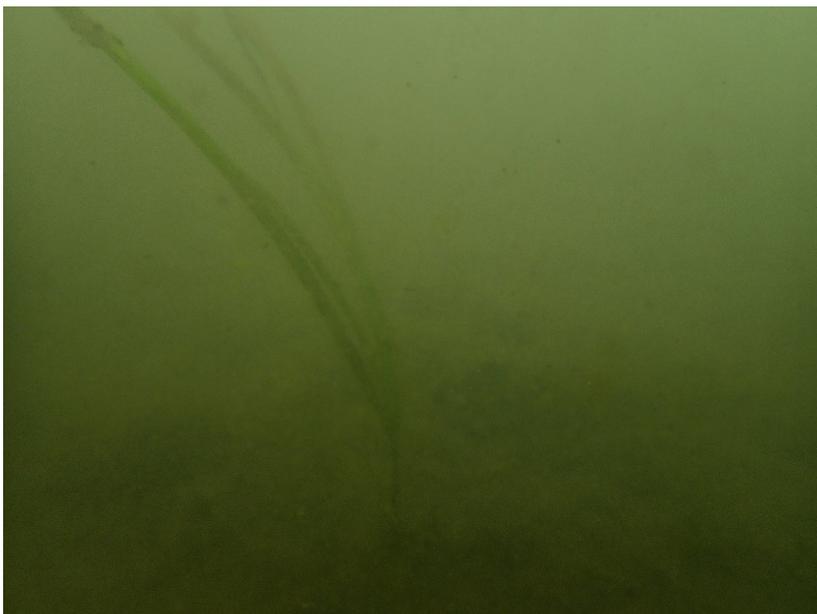
マット上に 3 株のアマモが確認できた。体長は約 30 cm が 1 株と 50 cm が 2 株であった。
中に種をつくる「花穂^{かすい}」は認められなかった。

マットには泥が 5~7 cm 程度堆積しており、枯れ葉等は少なかった。

（アマモ 約 30 cm）



（アマモ 約 50 cm）



(アマモ 約 50 cm)

